

## 『第2回学校運営協議会』にて



10月21日（水）協議会では、学校ごとの分科会に分かれ、学校運営状況の報告が行われ、その後に意見交換を行いました。各学校ともコロナ禍で行事が中止や延期になり、頭を悩ましながらも、今できる事業を充実させていました。一部を紹介します。

### ○八森小学校グループ

- 各学年とも、八峰白神ジオパークを中心にして『地域学習』に力を入れている。
- 体力向上を目指して春と秋のマラソン大会や、児童会呼びかけのランニング・雲梯・縄跳び等に取り組んでいる。
- 健康に関する取り組み『八森っ子ヘルス&ハピネス・チャレンジ』を充実させている。



### ○峰浜小学校グループ

- ふるさとに目を向けたキャリア教育として、3年生は梨、4年生はラベンダー、5年生は米、6年生はソバの学習に取り組んでいる。
- コロナ禍でも、6年生がリーダーを自覚して、児童会活動や学校行事等に積極的に取り組んでいる。その成長が著しい。
- 『たくましい峰浜っ子』の一例として、雨の体育大会で欠席者が出なかったことがうれしかった。



### ○八峰中学校グループ

- 毎月8のつく日に『八峰あったかおもいやりデー』を生徒会で実施。
- オンライン授業などICT機器等の効果的な活用を進めているが、八峰中祭で別会場へライブ配信するなど、行事でも活用することができた。
- 3年生のオリジナル商品開発・販売や、2年生の町特産品PR・販売活動を町文化祭会場で実施する。
- ふるさと学習として、全学年で八峰白神ジオサイト体験学習を行った。
- 地区生徒会による地区奉仕活動（夏・春）に取り組んでいる。

### ◎全体会での意見

中学生のスマホ等の所持率が高くなって、全国的にもSNS等で様々なトラブルが発生しています。親世代も含め、情報モラルや使い方について当協議会でも取り上げて行きます。

## Dのあっちこっち見聞録

### ●八峰中 町内ジオサイト学習

10月12日～15日、八峰中の全学年が、八峰白神ジオサイトの体験学習を行いました。場所は、滝の間海岸、湊安の乙女像など。



大岩の横にいた岩穴は、青函トンネルのために試掘した跡だったとか、日本海中部地震被災者の供養像である乙女像の旧土台は、地震で落ちてきた大岩だったなど、ジオガイドの説明は、生徒たちにとって新鮮だったようです。校長先生、「このあと鍋っこ遠足をやらせたかったんだけど、コロナ禍で仕出し弁当にせざるを得なかった」。残念でした！

### ●峰浜小 収穫体験

10月26日、6年生はソバの収穫体験を、5年生は天日干した稲の脱穀体験をしました。ソバの収穫では、はつぼう農園スタッフ3名の指導のもとで、倒れたソバの手刈りとコンバインの乗車を体験しました。（このコンバインで乗用車2台買えます！）



稲の脱穀では、JA青年部6名が稲を下ろし、その稲を児童が脱穀機に運び、脱穀機で脱穀。稲わらは青年部と先生が丸めて（束ねて）いました。手間と手がかかりますね。でも、どっちも食べてみたい！

